

埼玉労働局長が全国労働衛生週間に 工場パトロールを実施しました

埼玉労働局長（田平(たびら)浩二(こうじ)）は、全国労働衛生週間期間中の10月6日、株式会社荻野精機製作所（蕨市）において工場パトロールを実施しました。

同社では、従業員の健康管理を推進するため、従業員をランダムに4人程度のチームに分け、チームごとに目標を設定し、その達成に向けた取組を全員で進めています。また、1～2週間ごとに取組状況を報告し、その報告にはAIを活用していました。

さらに、作業場にサーキュレーターを設置し、過度に冷やし過ぎない室温管理を行うほか、事務作業においては疲労軽減チェアを活用するなど、快適な職場環境づくりと作業効率の向上に取り組んでいました。

加えて、作業場の床を滑りにくい素材へ改修するとともに、来客用スリッパを滑りにくいものへ変更するなど、転倒防止対策にも取り組んでいました。

本パトロールでは、埼玉労働局長が事業場内を視察するとともにさらなる労働衛生管理活動の一層の推進を呼びかけました。



自動切断機について荻野社長（右）から説明を受ける田平局長（左）



健康管理活動について説明する荻野社長（右）



熱中症予防対策について説明を受ける田平局長



挨拶する田平局長



講評を行う高橋労働基準部長



株式会社荻野精機製作所玄関前での集合写真